

平成29年秦野市議会第3回定例会提出議案等一覧表

No.	議案等番号	件名	担当課	説明
1	議案第42号	平成28年度秦野市一般会計歳入歳出決算の認定について	財政課	地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定に付すもの 決算見込額 歳入：49,511,041,206円 歳出：47,577,369,748円
2	議案第43号	平成28年度秦野市水道事業会計決算の認定について	経営総務課	地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付すもの 決算見込額 歳入：3,012,404,095円 歳出：2,683,587,422円
3	議案第44号	平成28年度秦野市公共下水道事業会計決算の認定について	経営総務課	地方公営事業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付すもの 決算見込額 歳入：7,055,891,974円 歳出：6,939,377,548円
4	議案第45号	平成28年度秦野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	国保年金課	地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定に付すもの 決算見込額 歳入：20,707,338,154円 歳出：20,482,180,841円
5	議案第46号	平成28年度秦野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	高齢介護課	地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定に付すもの 決算見込額 歳入：10,861,553,522円 歳出：10,598,472,972円
6	議案第47号	平成28年度秦野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	国保年金課	地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定に付すもの 決算見込額 歳入：1,935,338,085円 歳出：1,824,337,393円

No.	議案等番号	件名	担当課	説明
7	議案第48号	条例一部改正 秦野市特別職職員の給与等に関する条例及び秦野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正することについて	人事課	本年9月1日に就任する教育長の給料月額に係る減額措置を任期満了まで行うとともに、その減額率を退職手当の額に反映させるため、改正するもの 施行日 平成29年11月1日
8	議案第49号	条例一部改正 秦野市介護保険条例の一部を改正することについて	高齢介護課	介護保険法の一部改正により、介護保険事業の運営上必要な調査において文書提出等の命令に応じない場合に過料を科せられる者として第2号被保険者の配偶者等を加えるとともに、被保険者の世帯に属する者についても過料を科すこととするため、改正するもの 施行日 公布の日
9	議案第50号	工事請負契約の締結について	契約課 建築住宅課 消防総務課	消防署西分署建築工事（平成29年度継続費設定）の請負契約を締結するもの
10	議案第51号	平成29年度秦野市一般会計補正予算（第2号）を定めることについて	財政課	歳入歳出補正見込額 69,467千円
11	議案第52号	平成29年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第1号）を定めることについて	営業課	補正見込額 収益的支出 3,309千円
12	議案第53号	平成29年度秦野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）を定めることについて	国保年金課	歳入歳出補正見込額 21,878千円
13	議案第54号	平成29年度秦野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて	高齢介護課	歳入歳出補正見込額 258,521千円

No.	議案等番号	件名	担当課	説明
14	報告第17号	専決処分の報告について	警防対策課	交通事故に係る損害賠償 賠償金額 7,992円 過失割合 100パーセント 専決処分日 平成29年8月7日
15	報告第18号	専決処分の報告について	スポーツ推進課	施設管理瑕疵に係る損害賠償 賠償金額 163,170円 責任割合 100パーセント 専決処分日 平成29年8月14日
16	報告第19号	専決処分の報告について	契約課 環境資源対策課	クリーンセンター建設に伴う利便施設新築工事（建築）（平成28年度継続費設定）において、「名水はだの富士見の湯」の2階休憩室、マッサージ室及び食堂の壁の一部を秦野産ヒノキ材を使った腰壁とするため、原契約金額を増額する変更契約の締結 原契約金額 347,220,000円 変更後の契約金額 348,854,040円 変更する額 1,634,040円の増額（0.47%の増） 専決処分日 平成29年7月12日
17	報告第20号	平成28年度秦野市一般会計継続費精算報告書	財政課	定住化促進住宅事業費（建物全面改修工事）
18	報告第21号	平成28年度秦野市公共下水道事業会計継続費精算報告書	経営総務課	雨水幹線管きょ整備事業費（大根第10雨水幹線整備事業費）
19	報告第22号	平成28年度秦野市健全化判断比率及び資金不足比率について	財政課	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、平成28年度秦野市健全化判断比率及び資金不足比率を報告するもの

平成29年度秦野市一般会計補正予算（第2号）総括

平成29年8月28日

歳入

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	
14 国庫支出金	8,654,540	25,775	8,680,315	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（交付率10/10） 2,548 母子家庭等対策総合支援事業費補助金（補助率3/4） 1,894 保育対策総合支援事業費補助金（補助率2/3） 21,333
17 寄附金	256,599	1,480	258,079	観光費寄附金 1,180、社会教育費寄附金 300
19 繰越金	547,876	13,912	561,788	前年度繰越金 13,912
21 市債	4,579,500	28,300	4,607,800	橋りょう長寿命化・耐震化事業債 18,000、消防団車庫待機室整備事業債 10,300
計	52,004,190	69,467	52,073,657	

歳出

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳							
				国庫	県	地方債	寄附金	繰入金	その他	一般財源	
3 民生費	22,797,268	28,995	22,826,263	25,775							3,220
6 商工費	927,629	1,180	928,809				1,180				0
7 土木費	7,245,279	20,010	7,265,289			18,000					2,010
8 消防費	2,441,976	10,796	2,452,772			10,300					496
9 教育費	3,283,832	8,486	3,292,318				300				8,186
計	52,004,190	69,467	52,073,657	25,775	0	28,300	1,480	0	0	0	13,912

補正予算の内容

1 歳入歳出予算補正

(単位：千円)

款	事業名	補正額	補正額の財源内訳						備考	
			国庫	県	地方債	寄附金	繰入金	その他		一般財源
(歳出) 3 民生費 03 01 03 150 001	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 【高齢介護課】	2,548	2,548						0	宿泊を伴う高齢者施設及び増築予定施設の2棟を対象に、安全安心を確保するためのスプリンクラー整備に係る経費の一部を助成するもの
03 02 01 030 005	母子家庭等自立支援給付金事業費 【子育て支援課】	2,447	1,894						553	母子家庭等自立支援給付金について、給付対象者を4名で見込んでいたが、その後、新たな申込みにより対象者が7名になり、さらに1名について、住民税非課税者となったことにより、給付額が増額したため、当初予算額では不足が生じるもの
03 02 01 150 001	保育所緊急整備事業補助金 【保育こども園課】	24,000	21,333						2,667	保育環境の充実を図るため、大秦ショッピングセンター完成に合わせ、2階において4月開所予定の大秦ショッピングセンター保育園（仮称）（定数30名）の整備にかかる費用の一部を助成するもの
小 計		28,995	25,775						3,220	
6 商工費 06 01 04 110 001	観光地交流活性化事業費 【観光課】	1,180					1,180		0	地域再生計画に基づき、現在取組んでいる、鶴巻温泉と表丹沢（大山）の広域連携によるまちづくり・地域活性化事業について、より一層の事業広報活動を図るため、民間からの寄附金を活用し、広報宣伝に係る経費を計上するもの
小 計		1,180					1,180		0	
7 土木費 07 02 04 020 001	橋りょう長寿命化・耐震化事業費 【建設管理課】	20,010			18,000				2,010	橋りょうの長寿命化を滞りなく推進するため、当初予定していた工事箇所を変更して耐震修繕工事を執行するため、必要な経費を計上するもの
小 計		20,010			18,000				2,010	

款	事業名	補正額	補正額の財源内訳						備考	
			国庫	県	地方債	寄附金	繰入金	その他		一般財源
8 消防費 08 01 03 040 001	消防団車庫待機室整備事業費 【消防総務課】	10,376			10,300				76	総合計画に位置付けられた、新耐震基準を満たしていない消防団車庫待機室の建替えのための用地の候補地が見つかり、且つ、現在の待機室の用地は、早期の建替え・移転を条件に再契約をして賃借していることから、来年度の工事に向け、用地取得に係る経費を計上するもの
08 01 05 020 003	非常配備経費 【防災課】	420							420	ドローン民間協力者と災害時応援協定を締結する運びとなったことを契機に、本市でもドローンを活用できる体制を整えるため経費を計上するもの
小 計		10,796			10,300				496	
9 教育費 09 02 02 020 003	準要保護児童給食費扶助費 【学校教育課】	2,322							2,322	就学援助給付対象者が確定した結果、当初予算編成時に見込んだ人数を上回ったため、当初予算額では不足が生じるもの
09 02 03 050 001	要保護準要保護児童就学援助費 【学校教育課】	2,521							2,521	当初予算編成後に、国の示す要保護児童生徒援助費補助金の単価がほぼ倍となったこと及び、就学援助給付対象者が確定した結果、当初予算編成時に見込んだ人数を上回ったため、当初予算額では不足が生じるもの
09 03 03 040 001	要保護準要保護生徒就学援助費 【学校教育課】	3,343							3,343	当初予算編成後に、国の示す要保護児童生徒援助費補助金の単価がほぼ倍となったこと及び、就学援助給付対象者が確定した結果、当初予算編成時に見込んだ人数を上回ったため、当初予算額では不足が生じるもの
09 05 04 050 001	郷土文学資料収集等経費 【生涯学習文化振興課】	300				300			0	平成29年11月に図書館で開催を予定している、「浮世絵展」について、より一層の市民周知を図るため、民間からの寄附金を活用し、広報宣伝に係る経費を計上するもの
小 計		8,486				300			8,186	
歳 出 合 計		69,467	25,775	0	28,300	1,480	0	0	13,912	
(歳入) 19 繰越金 19 01 01 01 01	前年度繰越金	13,912								
一般財源分歳入合計		13,912								

2 地方債補正(変更)

(単位:千円)

起債の目的	限度額	
	補正前	補正後
(土木債) 道路橋りょう整備事業費	536,500	554,500
(消防債) 消防施設整備事業費	324,600	334,900

他会計

公共下水道事業会計補正予算(第1号)	3,309 千円	過年度損益修正損	3,309 千円
国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	21,878 千円	療養給付費等交付金返納金	21,878 千円
介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	258,521 千円	介護保険給付費等準備基金積立金	209,162 千円
		国庫支出金過年度分返還金	45,777 千円
		県支出金過年度分返還金	3,582 千円

平成29年度秦野市公共下水道事業会計補正予算（第1号）総括

1 収益の支出

(1) 支出

(単位：千円)

目	補正額	説明
2 過年度損益修正損	3,309	1 過年度損益修正損 3,309

(款) 1 下水道事業費用 5,023,390千円 + 3,309千円 = 5,026,699千円
 (項) 3 特別損失 2,203千円 + 3,309千円 = 5,512千円

議案第53号 平成29年度秦野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）総括

1 歳入 単位：千円

款	補正前の額	補正額	計
9 繰越金	1	21,878	21,879
歳入合計	21,492,000	21,878	21,513,878

2 歳出 単位：千円

款・項・目・事業	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
11 諸支出金	17,017	21,878	38,895				21,878
1 償還金及び還付加算金	17,017	21,878	38,895				21,878
6 療養給付費交付金返納金	1	21,878	21,879				21,878
歳出合計	21,492,000	21,878	21,513,878	0	0	0	21,878

手持資料

3 補正理由

- (1) 平成28年度における療養給付費等交付金の実績報告に伴い、過大交付額が発生したため、療養給付費等交付金返納金として返還するため、増額するもの。

議案第54号 平成29年度秦野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）総括

1 歳入

単位：千円

款・項・目・事業	補正前の額	補正額	計
8 繰越金	1	258,521	258,522
1 繰越金	1	258,521	258,522
1 繰越金	1	258,521	258,522
01 前年度繰越金	1	258,521	258,522
歳入合計	11,476,078	258,521	11,734,599

2 歳出

単位：千円

款・項・目・事業	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
4 基金積立金	754	209,162	209,916				209,162
1 基金積立金	754	209,162	209,916				209,162
1 介護給付費等準備基金積立金	754	209,162	209,916				209,162
0100 介護給付費等準備基金積立金	754	209,162	209,916				209,162
6 諸支出金	2,999	49,359	52,358				49,359
1 償還金及び還付加算金	2,999	49,359	52,358				49,359
2 償還金	2	49,359	49,361				49,359
0100 国庫支出金過年度分返還金	1	45,777	45,778				45,777
0200 県支出金過年度分返還金	1	3,582	3,583				3,582
歳出合計	11,476,078	258,521	11,734,599	0	0	0	258,521

部長会議付議事案書（報告）

（平成29年8月28日）

提案課名 企画課

報告者名 高垣 秀一

<p>事案名</p>	<p>秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト）平成28年度（2016年度）評価報告書について</p>	<p>（有） 資料 無</p>															
<p>提案趣旨</p>	<p>平成29年6月から8月にかけて、行財政調査会行財政経営専門部会（部会長・斉藤進氏）において、総合戦略（後期基本計画リーディングプロジェクト）の平成28年度実績に対する外部評価を行っていただき、その結果を取りまとめましたので報告します。</p>																
<p>概要</p>	<p>4つの基本目標について、いずれも「概ね順調に進んでいる」とした本市の自己評価の総括は妥当であり、平成28年度の取組みは全体として、概ね順調に進んでいる旨の評価を受けました。</p> <p>※詳細は別紙「評価報告書」のとおり</p>																
<p>経過</p>	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>平成29年 5月～6月</td> <td>各部局における自己評価</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>〃 6月 2日</td> <td>第1回行財政経営専門部会</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>〃 7月28日</td> <td>第2回 〃</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>〃 8月 9日</td> <td>第3回 〃</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>〃 8月18日</td> <td>行財政経営専門部会から市長へ報告</td> </tr> </table>		1	平成29年 5月～6月	各部局における自己評価	2	〃 6月 2日	第1回行財政経営専門部会	3	〃 7月28日	第2回 〃	4	〃 8月 9日	第3回 〃	5	〃 8月18日	行財政経営専門部会から市長へ報告
1	平成29年 5月～6月	各部局における自己評価															
2	〃 6月 2日	第1回行財政経営専門部会															
3	〃 7月28日	第2回 〃															
4	〃 8月 9日	第3回 〃															
5	〃 8月18日	行財政経営専門部会から市長へ報告															
<p>今後の進め方</p>	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>平成29年8月</td> <td>議会へ情報提供</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>〃</td> <td>公表（市ホームページ）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月</td> <td>KPI及び数値目標などの指摘があった事項について該当課へ見直し等の依頼</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平成30年3月</td> <td>総合戦略の改定（KPI等の見直し）</td> </tr> </table>		1	平成29年8月	議会へ情報提供	2	〃	公表（市ホームページ）		9月	KPI及び数値目標などの指摘があった事項について該当課へ見直し等の依頼	3	平成30年3月	総合戦略の改定（KPI等の見直し）			
1	平成29年8月	議会へ情報提供															
2	〃	公表（市ホームページ）															
	9月	KPI及び数値目標などの指摘があった事項について該当課へ見直し等の依頼															
3	平成30年3月	総合戦略の改定（KPI等の見直し）															

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト)
平成28年度(2016年度)評価報告書

平成29年8月

神奈川県秦野市

(以下省略)

部長会議付議事案書（報告）

（平成29年8月28日）

提案課名 企画課 公共交通推進課

報告者名 高垣秀一 保坂富士雄

<p>事案名</p>	<p>小田急電鉄株式会社との連携協定の締結について</p>	<p>資料 有</p>
<p>提案趣旨</p>	<p>本市は、昭和2年の小田急線開業以来、市内に4駅を有し、各駅を拠点に発展してきました。</p> <p>本市では、市内4駅からそれぞれ2kmの徒歩圏内に人口の約6割が居住するなど、4駅及びその周辺の整備は、市民の生活利便性や安全・安心の向上に直結します。</p> <p>また、平成32年度に控える新東名高速道路秦野SA及びスマートICの供用開始など、広域交通拠点としての本市の役割が増す中、小田急電鉄の持つ輸送力や広域的な情報発信力は、本市の発展において必要不可欠なものとなっています。</p> <p>こうしたことを踏まえ、ソフト・ハード両面において、小田急電鉄との連携をさらに深めるため、協定を締結したものです。</p>	
<p>概要</p>	<p>小田急電鉄との協議を踏まえ、協定の期間を10年間（その後は自動更新）とし、特に次の点について連携するものです。</p> <p>(1) 駅機能の向上及び駅を中心としたまちづくりに関すること。</p> <p>ア ホームドア整備の検討などホームの安全性向上に関する連携・協力</p> <p>イ 誰もが安心・便利に利用できる駅機能の高度化に関する連携・協力</p> <p>ウ 鶴巻温泉駅における南口広場整備事業と駅改良工事の推進に関する連携・協力</p> <p>エ 踏切安全対策や横断管路の耐震化など鉄道や地域の安全性向上に関する連携・協力</p> <p>オ 公共交通機関案内板整備など駅周辺の案内に関する連携・協力</p> <p>カ 4駅を拠点とした「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり実現に関する連携・協力</p> <p>(2) 地域の活性化及び地域の魅力発信に関すること。</p> <p>ア ロマンسカーを活用したイベントの開催など地域の活性化に関する連携・協力</p> <p>イ 駅空間や車両を活用した地域資源のPRに関する連携・協力</p>	

<p>経 過</p>	<p>平成28年 7月 連携について小田急電鉄株式会社交通企画部と協議を開始 同年10月 宮永岳彦記念美術館における小田急電鉄関連の常設展示について 連携 同年12月～平成29年8月 具体的な連携協定の締結について協議 平成29年 8月 「山モリ！フェス」におけるロマンスカーの秦野駅への臨時停車 同年 8月23日 「秦野市と小田急電鉄株式会社との小田急小田原線沿線まち づくりの推進に関する連携協定」の締結</p>
<p>今 後 の 進 め 方</p>	<p>定期的に協議や情報交換を行う場を設けながら、駅機能の向上や立地適正化等まちづくりの推進、ロマンスカーを活用した地域活性化や地域資源のPRなど、本市及び小田急電鉄の相互の付加価値向上を見据え、多方面での連携を推進していくものです。</p>



秦野市と小田急電鉄株式会社との小田急小田原線沿線まちづくり
の推進に関する連携協定書

秦野市（以下「甲」という。）と小田急電鉄株式会社（以下「乙」とい
う。）とは、秦野市内において鉄道を軸としたまちづくりを推進することにつ
いて、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、小田急小田原線の秦野市内4駅及び駅周辺において、鉄道
利用者及び市民の利便性・安全性を高めるとともに、地域の活性化に努め、
鉄道を軸とした「快適でゆたかなまちづくり」の実現を目指すことを目的と
する。

（連携事業）

第2条 甲及び乙は、次に掲げる分野について連携・協力を図るものとする。

- (1) 駅の機能向上及び駅を中心としたまちづくりに関すること。
- (2) 地域の活性化及び地域の魅力発信に関すること。

（協議等）

第3条 前条各号に掲げる事項の円滑な推進を図るため、甲及び乙は、定期的
に協議、情報共有等を行う場を設けるものとする。

（費用負担）

第4条 甲及び乙は、第2条の連携事業を推進するに当たり、必要な費用負担
が発生するときは、甲乙協議のうえ定めるものとする。

（協定の期間）

第5条 本協定の期間は、協定締結の日から10年間とする。ただし、協定期
間満了の3か月前までに甲又は乙から特段の異議がないときは、本協定の期
間をその満了の日の翌日から1年間延長するものとし、以後も、また同様と
する。

（協議事項）

第6条 本協定に関する疑義又は本協定に定めのない事項が生じたときは、甲
乙協議してこれを定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、それ
ぞれ各1通を保有する。

平成29年8月23日

甲 神奈川県秦野市桜町一丁目3
秦野市長 古谷 義



乙 東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
小田急電鉄株式会社
取締役社長 星野 晃



秦野市と小田急電鉄株式会社との小田急小田原線沿線まちづくりの推進に関する連携協定

1 背景・目的

- 昭和2年の小田急線開業以来、秦野市内には4駅（鶴巻温泉駅、東海大学前駅、秦野駅、渋沢駅）が開設され、首都圏のベッドタウン的に各駅を拠点として発展した。
- 秦野市民にとって、小田急線は最も身近な交通手段として生活に不可欠なものとなっており、4駅及びその周辺の整備は、秦野市民の生活利便性・安全性の向上に直結する。また、秦野市において都市機能に係る立地適正化を推進する上でも、駅及び駅周辺の機能向上は不可欠である。
- 小田急電鉄においては、平成30年3月に都心近郊区間での複々線の完成を予定しており、これにより、ラッシュ時間帯の都心方面への所要時間短縮が図られる。あわせて、秦野市内では平成32年度の新東名高速道路秦野SA及びスマートICの供用開始が見込まれているなど、広域交通拠点としてのポテンシャルが飛躍的に高まることが期待されている。
- 上記の状況を踏まえ両者が連携・協力して、相互の付加価値を高めることを目的に、連携協定を締結する。



秦野駅前の発展の様子



新東名高速道路と秦野SA（イメージ）

2 連携・協力の内容

- ・ 駅の機能向上及び駅を中心としたまちづくりに関すること
- ・ 地域の活性化及び地域の魅力発信に関すること

3 具体的な連携・協力事項

- ・ 駅の機能向上及び駅を中心としたまちづくりに関すること

- ① ホームドア整備の検討などホームの安全性向上に関する連携・協力
- ② 誰もが安心・便利に利用できる駅機能の高度化に関する連携・協力
- ③ 鶴巻温泉駅における南口広場整備事業と駅改良工事の推進に関する連携・協力
- ④ 踏切安全対策や横断管路の耐震化など鉄道や地域の安全性向上に関する連携・協力
- ⑤ 公共交通機関案内板整備など駅周辺の案内に関する連携・協力
- ⑥ 4駅を拠点とした「コンパ外・プラス・ネットワーク」のまちづくり実現に関する連携・協力



駅の安全性を向上させるために検討するホームドアのイメージ。



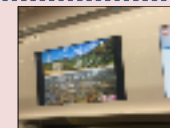
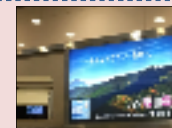
現在、事業中の鶴巻温泉駅南口駅前広場整備事業の完成予想図。



秦野市産木材を使用した鶴巻温泉駅跨線橋の完成イメージ。

- ・ 地域の活性化及び地域の魅力発信に関すること

- ① ロマンسカーを活用したイベントの開催など地域の活性化に関する連携・協力
- ② 駅空間や車両を活用した地域資源のPRに関する連携・協力



駅空間、車両を活用して、秦野市の魅力を沿線全体にPRする。